

科目名	家庭総合	学年	普通科				必/選	単位数
		2	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	2
			国文	理進				
○	○	○	○					
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。</li> <li>家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</li> <li>様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</li> </ul>							
使用教材	教科書：「新家庭総合」パートナーシップでつくる未来（実教出版） 副教材：なし							
評価	評価法	提出プリントの内容、実習の取り組み、定期テスト、授業態度						
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。				
		b	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法			
					a	b	c	
1	4	2	第1章 これからの人生について考えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。</li> <li>こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。</li> </ul>	レポート プリント	レポート プリント	レポート プリント	

		2	第2章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。</li> <li>・働く意義とどのような仕事（職場）で働きたいと思うかを考える。</li> <li>・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみや具体的なサポートのあり方について考える。</li> </ul>	レポート	レポート	レポート
	5 6 7	22	第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服を例に挙げ、人と衣服のかかわりや素材と種類の特徴や衣服の選択から管理までを学ぶ。</li> <li>・エプロン作りで基本的な裁縫技術を学び、ボタン付けや裾直し等は繰り返し学習することで実生活に役立てるようにする。エプロンは調理実習で使う。</li> </ul>	被服実習 期末考査	被服実習 期末考査	被服実習 期末考査
	8	夏休み	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。</li> <li>・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。</li> <li>・友達や家族と協働して課題を解決する意義を知る。</li> </ul>	ロイロノートによるレポート	ロイロノートによるレポート	ロイロノートによるレポート
2	9 10 11 12	27	第6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。調理実習は個別調理とし主体的な学びを実践する。</li> <li>・食生活の現状を把握し、栄養・食品・調理に関する内容と関連づけながら問題点の解決策を考えてみる。</li> </ul>	調理実習 期末考査	期末考査	調理実習
3	1	8	第9章 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者における消費者被害をふまえて消費者としての自覚を持ち、消費者問題にかかわる内容を学び、そのうえで家庭経済についての理解を深める。</li> </ul>	レポート プリント 学年末考査	レポート プリント 学年末考査	レポート プリント
	2 3	8	第10章 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活における経済と社会のかかわりについて学び、適切な家計管理について考える。</li> <li>・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。</li> </ul>	レポート プリント 学年末考査	レポート プリント 学年末考査	レポート プリント

担当者からのメッセージ（学習方法など）

実習や提出物の配点を大きくします。自己管理をしっかりしてください。学習後には自立した生活ができることを目標に、家庭科の勉強を積み重ねてください。